

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 上杉 正敏 様

広聴委員会

委員 森田 充

開催日時	令和6年8月6日（火） 9時55分 ～11時30分
開催場所	南地区公民館
出席議員	議員氏名（役割） 長崎 任男（ファシリテーター） 森田 充（書記）
参加者数	4名（市民2名、上杉議員、馬場議員）
内 容 (内容および時間配分)	「対話の夏」お聴かせください。あなたの生（なま）の声！をテーマで彦根市の8カ所の公民館で開催予定。 当公民館からスタートしました。 彦根のこと、地域のことなど車座で市民の方々と気軽に対話する形式で進めました。 ・自己紹介 各3分程度（12分程度） ・車座 70分程度 【新ゴミ処理施設について】 ・建設費用だけではなく後世（孫など）に繋げる施設にしてほしい。 ・バイオ燃料化にしては ⇒バイオ燃料化するには人口規模が足りない ⇒大阪ガスの先進事例を紹介頂いた ・市民としては「ゴミ減量化」は出来ること ・大人の紙オムツ問題⇒どのように処理されているのだろうか？ ※ユニ・チャームは再生技術が進んでいる。 ・ゴミ問題は市民の理解が一番大切である。 ・今はCO₂を上手く使う時代ではないのか ・未来に繋がる新ゴミ処理施設にしてほしい

	・ 固形燃料が売却できない時が心配だ 【稼げる彦根市】 ・ 彦根市を後世に残していきたい ・ いいロケーションがたくさんある ・ 映画、ロケの街になってきた ⇒観光客が俳優になった気分になれるしかけ作り ・ 彦根城世界遺産登録をきっかけにより良い街にしていく ・ ゆっくり観光を目指す（動線が悪い） ・ 彦根港の活用⇒県への働きかけが必要 ・ 道の駅的な複合施設が必要 ・ 官民一体で進めることが重要 ・ 3つの大学とのさらなる連携を ・ 街並みは路地が大切 ・ 彦根の街には繋がりが無い ・ NPO 法人などが誕生し成長しにくい環境だ
主な質疑応答および考察	市民の方々も最初は緊張された様子でしたが自己紹介の後に車座形式に入ると徐々に緊張もほぐれ、活発な意見交換となりました。 今回の出席者は彦根が大好きな方々で様々な提案や危惧していることなどを多く意見して頂きました。 出席者もこのように市議会議員と意見を交わすことを大切な時間と捉えて頂いており貴重な時間となりました。 今後も市民が何を考え、何を望まれているのか、生の声を聴くことは大切だと再認識できたいい機会となりました。

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 上杉 正敏 様

広聴委員会
委員 小川隆史

開催日時	令和6年8月7日（水）14時00分 ～ 15時30分
開催場所	彦根市西地区公民館
出席議員	議員氏名（役割）
	奥野嘉己、小川隆史
参加者数	1名
内 容 (内容および時間配分)	1名のみの参加であり、哲学対話が成立困難であったことに加え、参加された方が、自身が彦根市に対して持っている疑問に答えてほしいとの思いでしたので、質問にお答えする形で対話を進めました。

主な質疑応答および考察	○南彦根駅のエレベーター設置の時期について 県名で唯一、エレベーターのない南彦根駅に、いつ設置されるのか→令和7年に設置可能調査があり、結果を受けて可能であれば、令和8年度以降で建設が進められる予定と聞いている。 ○宅地開発に係る道路整備について 開発地内での行き止まり、小規模開発で連続性のない開発は改善できないか→地区計画が定まっておらず、業者での開発の中で敷設されているためと聞いている。 ○子どもの格差について 母子家庭が増加しているのか、貧富差があるように思うが→学童に来ている児童を見ている、生活の差はあるように見える。しかし、子どもの将来に夢が持てるような教育を進めるよう話をしている。 ○地域で対応に苦慮している高齢者対策について 家族、兄弟、近隣からも孤立し、話しかけに対して手を振り上げる者の対応に苦慮している→地域の民生委員等にも実際を確認し、地域包括センターなどを介して、ケース会議等を行うことが、具体的手法ではないか。 ○吉田学園に見る稲枝駅西側開発について 吉田学園が来られることで、映画産業を誘導し、新規雇用が生まれ、人口流入が図れれば、地域の活性化の一助になるとの考えもあると聞いている。吉田学園は彦根駅東口での開学を検討されている。候補地であった稲枝駅西側は、放置ではなく、市として活性化に向けて積極的に関わっていくと聞いている。 (考察) 公民館サークルへの呼びかけをお願いしていたが、議員の力不足もあり、1名の参加にとどまった。 しかし、参加者が少ないため、1つの疑問・質問にかなり深掘した議論ができ参加者も大変満足して帰られた。 対話に慣れておられない市民に、自由とどういうものの、対話から話を広げることには大変難しいと感じた。
--------------------	--

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 上杉 正敏 様

広聴委員会

委員 角井英明

開催日時	令和6年 8月8日（木） 10時00分 ～ 11時30分
開催場所	中地区公民館
出席議員	議員氏名（役割） 長崎任男（ファシリテーター） 角井英明（記録）
参加者数	2人（馬場和子議員を含む）
内 容 （内容および時間配分）	・石丸伸二前安芸高田市長についての話題からスタートした。というよりほとんど市長が行った石丸伸二との対談や「1日市長」任命に関することだった。そこに表れている市長の政治姿勢を問う対話だったように思う。 ・参加者は、ネットや YouTube 等をよく見ている方で、石丸伸二氏についての評価が自分のなかで変わってきていて、いまは安芸高田市の議会であれほど議員と対立したのはオカシイという評価をしている。彦根市ではどうなっているのか、と問題提起があった。市長対全議員というような図式はない、という意見が出た。 ・公務の日に都知事選の応援に行ったのはいかなものか、とっていてメールで抗議した、と参加者。東京へは自腹で行った。よく東京へまで来て石丸伸二を応援してくれたとふるさと納税が増えた。HATO スタジアムでの対談には、県外から1泊での参加があり経済効果があった。これこそ「稼げる彦根」。 ・閉館予定のふれあいの館も話題に。石丸事案で稼いだお金でふれあいの館を存続したらどうか。 ・「金がない、金がない」といっていると本当にそうなる。 ・声を聴いて市民とつながってほしい。 ・「議会だより」は必要。賛成反対の○×だけではなく、討論を載せてほしい。 ・新ごみ処理施設の建設や吉田学園、近江鉄道の鳥居本駅の問題など、知り

	たいことがある。 ・安芸高田市で石丸市長が 2022 年に市役所の開閉庁時間の短縮をやっている。10 月から彦根市も実施するが、安芸高田市の後追いはしてほしくない。
主な質疑応答および考察	・「哲学対話」という初めての取組だったが、参加者は 2 人。「土日」でないと出られないといわれた。本人は日程調整されて参加された。市政に対して強い関心を持っている方だった。そういう方は多数おられるはずで、どうしたらそういう声を広く聴くことができるのか。 ・参加者が少なかったのは、「哲学」という言葉に拒否反応があったからだろうか。館の人が「矢吹議員が参加した集まりは大盛況だった」といっていたので、当日参加予定の議員のせいだったのでしょうか。

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 上杉 正敏 様

広聴委員会
委員長 馬場和子

開催日時	令和6年8月9日（金）9時45分 ～ 11時30分
開催場所	東地区公民館
出席議員	議員氏名（役割） 安澤委員（準備・進行・撤収） 馬場委員（準備・出前広聴・取りまとめ・撤収）
参加者数	サークル「ナチュラル」参加者13人 議会広聴の日として設定した会場への参加者1人
内 容 （内容および時間配分）	午前9時50分～10時10分 東地区公民館で定期的に活動されているサークル「ナチュラル」が活動されている2階へ出前公聴会として活動開始前の20分間で彦根に対して思うことについて自由に意見をお伺いした。 午前10時15分以降、「議会広聴の日」の会場にて直前の聴き取りの内容を含めた話し合いを実施。
主な質疑応答および考察	城東学区の方が多いたサークルであったため中心市街地の活性化についての意見が多かった。 ●中心市街地（城東学区）銀座商店街の衰退の状況と活性化を希望する意見 ●夏イベント（万灯流し・彦根ばやし総踊り大会）減少への不満と、中止の理由、再開を希望する意見多数 ●彦根の花火大会の予定（3月開催時の周知不足への意見） ●学校の体育館へのエアコンが必要との意見 （小中学校の統廃合に関して、彦根市の現状を説明し今後は検討が必要と伝えた）

考察

8月6日の南地区公民館での「議会広聴の日」の取組の中の、前半の四回を終えての率直な感想として、サークル活動などで常時、公民館を利用されている団体を対象に実施するため平日のお昼の設定をしたが、土日や夜間開催を希望する意見もあった。

それぞれのサークルのレターボックスにチラシを投函するとともに公民館受付窓口にもチラシを置かせていただいたが、参加人数が非常に少なかった。

広報ひこね8月号への記事掲載や、彦根市のホームページでの周知など可能な限りの広報に努めたが、個別の働きかけを行わなかったこともあり、結果として参加人数が少なかったのではないかと思います。

議員あてにも開催日時の周知を行ったが、地元での開催時にも南地区公民館への上杉議長、東地区公民館への和田議員の他は議員の参加がなく非常に残念である。

今後、議会広聴の日の在り方を広聴委員会の中で協議する必要があると感じた。

議会報告会 報告書

彦根市議会議員 上杉 正敏 様

広聴委員会
委員 伊藤容子

開催日時	令和6年 8 月 20 日 (火) 10 時 00 分 ~11 時 30 分
開催場所	旭森公民館
出席議員	議員氏名(役割) 奥野嘉巳議員 (進行)・・・担当 伊藤容子議員 (記録)・・・担当 馬場和子議員 (板書) 小川吉則議員 (インターン生と参加)
参加者数	1 名 (インターン生) 1 名 (公民館利用の市民) 途中 入退室
内 容 (内容および時間配分)	会の進行方法の説明 (5分) 自己紹介 (5分) 議題の決定 (5分) 話し合い 自由に思ったこと考えたことを話してもらう (70分) 総括 (まとめはしない=哲学対話のルール) (5分)
主な質疑応答および考察	「彦根」について ・道路がでこぼこ、公共交通が不便 ・城下町特有？彦根城、屋形船、 ・大学生の遊び場：カラオケ、クラブ・サークル：見てるだけ、やってみたいこと：わからない これからの「彦根」のために ・地域のつながり希薄⇒行事などに参加してつながる ・彦根人気質・・・お上頼り ⇒NPO が育ちにくい ・南北に長い・・・地域特性あり ・台湾：夜店さかん

・彦根に出店しても⇒人口少なく売れない

○政治とは

・知らされてない⇔知ろうとしない

・ネットの短いキーワード＝刺激的・日々の忙しい生活で目には
いりやすい

→SNS フェイクもあり斜めに見ることも必要

→新聞等で詐欺危害が報じられていても被害が減らない

・税金の使途を知ろうとしない（受け身）

・情報が自然にはいってこない⇒市民は情報が自然とはいってきて
ほしい⇒道端の掲示板など効果的（祭りの開催の通行止めのお知らせ
などで祭り開催をする）

・広報ひこね・全て読む人少ない

・議員を使うこと大事・不明な点は議員に尋ねる

○議員は遠い存在？

・何をしているのか見えない

・発信：SNS、看板（掲示物）

○和田市長・市議会について（市民の方が参加し発言）

・議員：市民の声を届けられていない

・2元代表制が成り立っていない

・説明責任が果たせていない

・市長の顔が見えない（大会などに公務欠席が多い）

・SNSで活動を発信しているだけ（真の発信になっていない）

・議員の勉強不足

・議論ができていない

○議員って何？

・市民の声を届ける人 市民（様々な人がいる）の代表

・人は権力をもつと暴走する →それを抑えるために議会がある

・周囲がイエスマン化し必要な情報を渡せなくなる

・より多くの人の意見を聴く

・選挙によってえられる

・若年層の政治の関心低下

・石丸動画 政治のエンタメ化

・政策でなく2ワードでの訴え

・大学時代：物を考え言動で示す

大学生を中心に政治をどのように捉えているか少し理解がすすみました。市民は受け身でも市政の施策等の情報が（宣伝ではなく）は
いってくるような状態を望んでいるのだとも感じました。

また途中の一部分だけ市民1名が参加され、市政・議員への苦言が
ありました。市政・議員は自ら振り返り今後活かすことが求めら
れていると思いました。

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 上杉 正敏 様

広聴委員会

委員長 馬場和子

開催日時	令和6年8月20日（火）13時40分～15時30分
開催場所	河瀬地区公民館
出席議員	議員氏名（役割） 森田議員（会場設営・撤収） 馬場議員（出前広聴の実施）
参加者数	彦根市武道館（城東小学校前）で活動しておられる太極拳のサークルが、武道館にエアコンが設置されていないことから夏季限定で河瀬地区公民館を利用されており、メンバー20名にご意見を伺った。
内 容 (内容および時間配分)	公民館で活動されている太極拳のサークルの方の活動前の時間に出前広聴の日としてご意見を伺った。 午後1時40分～午後2時 「彦根市について、望むことは？」の問い掛けに対して ★情報発信として、市長が定期的に発信されている「ひこねしちよーCH」はタイムリーな話題を解りやすく発信されていて彦根市の今を知るのに役立っている ★高齢化が進む中、健康寿命延伸のためにも高齢者が気軽に集まれる場を増やしてほしい。 その場には、運動やレクリエーションを楽しめる道具等も備えて置いてほしい。 ★地区の公民館のほかに、歩いて行ける所にある自治会館や公民館などをもっと積極的に活用してはどうか ★夏季の武道館には、エアコンがなく扇風機だけでは活動に支障が生じることから武道館にエアコンを設置してほしい

主な質疑応答および考察	夏季以外は、城東学区にある武道館で活動されているサークルであり主に城東学区の方が多かったが、65歳以上の方で構成されていることもあり後期高齢者の活動の場と機会を求める声が多かった。 河瀬地区公民館では、どんな様子なのかと地元の野村博雄議員が顔を出された。 議会広聴の日の会場への参加者はなく、サークル活動前の時間を利用しての出前広聴となった。 9月定例会後に、ひこねゆかたまつりでのアンケートについて、また、市内8公民館で順次開催した議会広聴の日・対話の夏についての総括の意味での委員会を開催し、今後の在り方について検討する必要性を痛感した。
--------------------	---

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 上杉 正敏 様

広聴委員会

委員長 馬場和子

開催日時	令和6年8月21日（水）10時00分～11時30分
開催場所	稲枝地区公民館
出席議員	議員氏名（役割） 伊藤議員（会場設営・撤去・グッズ返却） 馬場議員（進行・記録・報告書作成）
参加者数	3名 稲枝学区社会福祉協議会事務局長・稲枝地区公民館館長・奥野議員
内 容 (内容および時間配分)	哲学対話のルールに則り 参加者から地域の課題について、彦根市の課題について自由対話 出た内容に対しての意見交換
主な質疑応答および考察	彦根市のこととして ★敬老会開催補助が0円になったこと 稲枝地区は極めて高齢化率が高く、高齢者が楽しみにしていた事業が実施できなくなった。 0円になったことの説明を市に求めたが、議会で決まったことだからとの回答 獅山市長時代には、@1000円だったものが 大久保市長時代に、@450円に減額され

和田市長になって、0 円になった

★高齢者の介護施設などへの送迎ボランティアを有志で行っているが、遠慮がちな町民性からか利用は少ない

★若者が地域に戻ってくるような子育て支援対策が必要
給食費の無償化に係る課題もあるのではないかと

↓

給食センターの管理栄養士次第で給食の内容も変わり、無償化になった場合の給食の質への影響が心配

★地域のつながりの希薄化が顕著

地区内の方の中にも地域との交流のわずらわしさから駅前のマンションへ移られる方もある

↓

稲枝地区には昔から地域のつながりを密にし、子どもたちに愛着を持ってもらうための「宿」制度があった。

今は廃れているが、この素晴らしい仕組みを復活させてはどうか

★空き家問題

道路が狭いため居住者がなく老朽化しても解体のための重機が入れないことも放置の原因

使えなくなるほど老朽化する前に、地域の集いやサロンの場として提供していただくことが必要ではないかと

★連合会の会議の形骸化

団塊の世代の方々が仕組みを作ったままで、その後の継承者がいない
会合にも同じような顔ぶれが集まり発展的な意見が少ない

町内会長と連合会長の兼務は、業務による心身への負担が大きいため改善する必要あり

★市役所の開庁時間の短縮については問題ないが、電子申請等を進めるのであれば彦根市のホームページを見やすく解りやすいものに改良すべき

検索に時間を要し検索する気にもならない

支所が余活用されていないのが現状

主にマイナンバーの交付手続きだけで

★土地の活用については、市街化調整区域の見直しが必要

そのことにより住宅が増え、人口が増える

若い世代の流入により地域が活性化する

★議会の質問、踏み込みが足りない

ルールとして、答弁に対する再質問は答弁の中の内容に限るものであることを説明した

議会や委員会の質問に取り上げることで、予算化された例もあることから質問することそのものが必要である

★南三ツ谷湖岸緑地公園に道の駅構想について意見を求めたところ
地域活性化の一手法であり大いに賛同するとのこと

	多岐多様な生の声を置き換えいただくと共に彦根市の状況や議会での議論の内容も伝えることができ、大変意義ある議会広聴の日～対話の夏になったと考える。 ※地元の議員の参加が奥野さんだけであったことは残念である。他の会場においても、ほぼ現職議員は無関心であったことから議員への周知が不足していたのではないかを反省材料とする。
--	--

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 上杉 正敏 様

広聴委員会
委員 安澤 勝

開催日時	令和6年8月21日（水曜日）14時00分～15時30分
開催場所	鳥居本地区公民館
出席議員	議員氏名（役割） 馬場 和子（板書） 安澤 勝（進行）
参加者数	男性 4名 女性 1名 合計 5名
内 容 (内容および時間配分)	有害鳥獣対策 観光・説明ボードが劣化している いろは松駐車場、旧外堀周辺 彦根城の入山料、周辺駐車場の料金が低い 京都並みの高額 お金がないと職員が口をそろえて言う 市民側に課題を突き付けられているようだ 花火大会を復活させてほしい 周辺警備費用の問題 市長の市政運営に不満がある 新しい市長に期待したい 敬老行事開催補助金がなくなった 自治会からの補助を得て、有志が小規模だが開催する計画がある 予算配分が城周辺に偏っている 道路状況が悪い 立船線の遅れなど 城以外にも素晴らしい観光資源があるのに活用されていない (男鬼、武奈、少年自然の家) 鳥居本映画撮影所 サンパレスの図書館にいくらお金をかけるのか あのような外観が必要か そもそも図書館利用がそんなにあるのか 鳥居本公園は市内はもとより県内他市からの利用が多い 市役所開庁時間短縮について 職員の働き方改革 市民サービスが充実されるのか

	こうした機会は必要では 継続して 新しいことが聞く機会となった 意見を出し合い解決を 市の情報が聞けて良かった いろいろな意見を聞くことができた
主な質疑応答および考察	フリートークになったが、参加者皆さんから忌憚のない普段思っている生の声を聴くことができた。 多くの事に疑問や不満を持っておられることが明らかとなった。 問題意識を持っておられるということは市政に関心があるのと同時に何とかしてほしいと期待の表れでもある。 結論を出す広聴会ではないが、出された意見を真摯に受け止め改善を図り、住民から信頼される市政の在り方が問われている。 こうした取り組みを積み重ねることで改善策の糸口としたい。